

広報
3月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集 広報部



「桜と寺院」

〈 主 な 内 容 〉

時の視点	都市近代化事業組合の事業 事業部	7~8
「三位一体」レンゴー(株)社長 大坪 清	2 支部便り	
「三位一体」の本来の意味について	第6回支部長訪問 「城北支部訪問」	
広報部	3 山手支部長 脇 克美	8
時の話題	城南支部新年会 城南支部 坂田 智	8~9
第10回 合同新年会	支部スケジュール	9~10
広報部副部長 脇 克美	3~4 第57回通常総会開催のお知らせ	10
東京返本加工協同組合 新年会開催 事務局	5 お知らせ	10
東京都紙器工業協同組合との懇談会	6 「4月会議・催事予定」「古紙価格」「代表者変更・住所変更」	
集荷部新年会を開催	7 会議概要 〔1月・2月〕	11~18
集荷部新年会に参加して	編集後記 広報部部长 清水弘允	19
前集荷部長 坂田秀一郎	7 広 告	20
全原連の新年会及び懇親ゴルフ会 広報部	7	

時の視点

広報3月号「時の視点」は、レンゴー株式会社の大坪社長が古紙再生促進センターの賀詞交歓会で挨拶として読み上げられた「経済界」1月22日号のご自身の投稿記事「三位一体」を、許可を頂き掲載いたします。

「三位一体」

レンゴー（株）社長 大坪 清

平成25年、癸巳の年がスタートした。新しい年、新政権の強力なリーダーシップで、あらゆる面での再生を期待したい。

いま子供たちの間で「ダンボール戦機」というテレビ漫画がはやっていることはご存じだろうか。その主題歌のタイトルが「三位一体」だと聞いて驚いた。三位一体といえば、キリスト教の教義としても知られるが、2000年、私がレンゴーの社長に就任した直後、当時混乱を極めていた古紙・製紙・段ボールの3つの業界の聖域なき構造改革として提唱したのが、まさに「三位一体」だったのである。

なぜ三位一体なのか。100%リサイクル可能で循環型の、環境に優しい段ボールは、わが国においては非常に高いリサイクル率を誇り、実際、2011年のリサイクル率は96.2%にもものぼる。これは段ボールが生産工場からユーザーへ届けられ、輸送の用に供される動脈物流だけでなく、回収されて、再び製紙原料として利用されるまでの静脈物流が完備されているということだ。

このリサイクルの輪こそが段ボールにとっての生命線であり、価値の源である。結局、この輪を構成する古紙・製紙・段ボールは運命共同体の関

係にあり、いずれが欠けても段ボール産業は成り立たない。中でもその原点は、街中で毎日額に汗して働く古紙回収に携わる人たちだ。

彼らの生活が成り立たないということは、すなわち段ボール産業が成り立たないということになる。私が三位一体と称し、3業界が手を携えて、お互いの利益を考えながら、さまざまな改革に取り組むべしと言い続けている原点もまさにここにある。

かつてこの3つの業界は、お互いに損を押し付け合うことが多かった。古紙は発生物であり、計画的な生産ができない。僅かに余っても価格は暴落の危機に瀕し、逆もまた然りである。その在庫管理、価格政策には細心の注意が必要であり、製紙業界、段ボール業界だけの利益を考えて行動しては、世界の模範といわれるわが国のリサイクルシステムを崩壊させてしまうことになりかねない。

世界的な景気後退と不安定な日中関係もあり、古紙の国際価格は非常に微妙な状況にある。新政権には大いに期待しているが、財政的に危機に瀕する政治に多くのサポートは望めない。そうであるからこそ、民の役割、責務は極めて大きい。公益的な視点からも、段ボールリサイクルの輪と、そこで働く人びとの雇用と生活を何としても守っていかねばならない。目先の利益だけを考え、信頼という大切な絆を断ち切るようなことがあっては決してならない。

漫画では三位一体は、心・技・体と、過去・現在・未来と歌われている。その心意気やよし。本家本元の段ボールにとっても、その肝心要の大命題が、まさしく古紙・製紙・段ボールの三位一体の信頼関係なのである。

「経済界 2013.1.22 号掲載」

「三位一体」の本来の意味について

広 報 部

「三位一体」という言葉は、キリスト教にとって重要な意味を持っています。キリスト教にも多くの宗派がありますが、カトリック教会やプロテスタント等の主要な宗派の中心的な教えになっています。一般的な日本人には極めて難解な教義ですが、誤解を恐れずに説明を試みれば以下のようになるでしょう。

キリスト教は一神教ですから、神は一つの実体として信仰の対象となります。二つ以上の実体として存在したら多神教になるはずですから当然の事でしょう。しかしその神が我々の前にどう表れ、どう感じられるか問われると、直接、神と人間が対峙する事はあり得ず、「父なる神」が「子なるイエス・キリスト」を我々に遣わし、「子なるイエス・キリストの言葉によって伝えられた愛」を「聖霊」と言い、この三つの位格（ペルソナ）において永遠に存在すると言いつわされています。

更に言えば、ユダヤ教の分派がキリスト教であり、二千年前のユダヤ教徒は救世主が現れる事を待ち望んでいましたので、一部のユダヤ教徒は「預言者イエス・キリスト」をその救世主であると信じて期待しました。しかしその期待が裏切られたと思い、彼を時の権力者であるローマ帝国に、世の中を混乱させた者として告発して処刑させました。

またイスラム教も同じ宗教がルーツですが、マホメッドを「最後にして最大の預言者」として敬ったとはいえ、マホメッドを神とは考えていません。「アラーの神」が彼らの唯一の神です。マホメッドには男児がいなかった事もあり、その後継者を巡って争いが起き、その結果としてスンニ派やシーア派などの宗派に分裂して今日に至っています。

何れにしろ、預言者を神と同一視しているのは

キリスト教だけですので、「三位一体」と言う教義は他の宗教ではあり得ません。

時の話題

第10回 合同新年会

広報部副部長 脇 克美

去る1月19日(土)6時より上野「精養軒」に於いて合同新年会が開催されました。



今年で第10回を数える新年会ですが、辻 城北支部長の司会により近藤 勝理事長の挨拶に続き、都議会自民党特別顧問 高島直樹様、前衆議院議員 田中美絵子様、経済産業省 製造産業局 紙業服飾品課 課長 坂本敏幸様、東京都産業労働局商工部 経営支援課 課長 山田利朗様に御来賓の挨拶を頂きました。尚、衆議院議員 松原仁様は、公務により秘書の方が代理出席されました。



都議会自民党特別顧問

高島直樹様



前衆議院議員
田中美絵子様



経済産業省製造産業局紙業服飾品課
課長 坂本 敏幸 様



東京都産業労働局商工部経営支援課
課長 山田 利郎 様

その後、挨拶した方を除くご来賓全員の紹介を行い、財団法人 古紙再生促進センター 専務理事 木村重則様より乾杯のご発声を頂き宴がはじまり自由歓談となりました。



(公財)古紙再生促進センター
専務理事 木村 重則 様

司会進行が青年部にかわり、恒例となりました支部対抗カラオケ大会となり大いに場が盛り上がりました。



8時を廻ったところで、関東製紙原料直納商工組合 理事長 大久保信隆様の中締めのご発声があり、支部長が全員ステージに整列するなか 高山台東支部長が閉会の辞を述べられ宴が終わりました。当日お手伝いをいただきました理事の皆様お疲れ様でした。



関東製紙原料直納商工組合
理事長 大久保 信隆様



東京返本加工協同組合

新年会開催

事務局

平成25年1月29日(火) 上野・東天紅 5階『葵・菊』の間に於いて東京返本加工協同組合新年会が開催されました。

当日は、東京都製紙原料協同組合 理事長 近藤勝様、日本出版販売株式会社 代表取締役副社長 平林 彰様をはじめ、栗田出版販売株式会社、株式会社大洋社、出版共同流通株式会社の幹部の方々、日頃業務及びいろいろな面でお世話になっている皆様方、組合員・職員合わせ総勢52名の方々にご出席いただき、盛大に開催されました。

式の冒頭、主催者を代表し工藤理事長が挨拶にたち、出版・古紙業界の厳しい現況についての話を述べられ、また、最後にトピックスとして来賓会社様取扱いの空間除菌グッズについてのご紹介と併せ、組合員並びにご出席の皆様の更なるご協力依頼の言葉を述べられました。



続いてご来賓を代表しまして、日本出版販売株式会社 代表取締役副社長 兼 出版共同流通株式会社 代表取締役社長 平林 彰様より日販並びに出版共同流通(株)の業績と物流動向について、また出版共同流通(株) 10年誌を現在、編纂中であり、ご協力をお願いとこの10年の歩みをこれから10年先の礎としていきたい旨のお話を頂きました。

続いて東京都製紙原料協同組合 理事長 近藤勝様より古紙業界の厳しい現状と課題についてお

話があり、古紙問題について業界三位一体の取組をより強化していくことで乗り切っていく必要がある旨のお話が述べられました。

来賓ご挨拶の後、日本出版販売株式会社 物流担当取締役 高田 誠様より巳年に因んだご挨拶と共に乾杯のご発声があり、懇親会が和気藹々の中、開宴しました。



宴中、司会者よりご来賓の皆様が壇上にてご紹介され、皆様から自己紹介と共に当組合への激励とご協力お願いのご挨拶が述べられました。そして、引き続き、余興としてエコロジーマジックの先駆者として活躍中の「ドリームかずよし」さんによるテーブルマジックショーが行われ、出席者の皆様から盛大な拍手がおくられていました。

立食形式の各テーブルでは、大きな輪がいくつもでき笑い声が絶えない中、マジックショーが終演し、宴たけなわの中、齋藤副理事長の中締め挨拶をもって19時40分散会となりました。

お忙しい中、懇親会にご出席をたまわりました皆様、誠にありがとうございました。

皆様のご協力に感謝申し上げます



東京都紙器工業協同組合との懇談会

[平成25年2月27日(水)午後6時00分～]

於) すみだ産業会館9階

出席者: 東京都紙器工業協同組合 10名

東京都製紙原料協同組合 14名

2月27日(水)に東京都紙器工業協同組合との第2回目の懇談会が開催されました。今回は、紙器組合の当番で場所は錦糸町の「すみだ産業会館」で行われました。会議終了後は近くの居酒屋で懇親会が行われ仕事談義に話が弾んでいました。以下は懇談会の一部の内容です。

代表者の挨拶

多根理事長 (東京都紙器工業協同組合)

2回目の会合となりますが役員が改選になってからは初めてとなりますので宜しくお願いいたします。

近藤理事長 (東京都製紙原料協同組合)

我々、古紙業者のリサイクル循環型の仕事に対し、本日、情報交換の機会をいただきましたことについて有り難く思います。

紙器業界の現況:

西嶋 様 (東京都紙器工業協同組合)

環境問題で最近の中国が酷い状態にあるが、以前の日本でも頻度は違うが同じような事があった。本日は段ボール業界を中心に話をしたい。製紙会社の都合による価格修正はエンドユーザーの不信をかけてしまう。平成24年度のダンボールの伸びは昨年対比で101%だが実態はマイナス傾向にある。最近では、薄物が増加してきている。段ボール箱はお客様が求める商品が動いて、初めて箱が動いていく。箱が動かないと言う事は、世の中の商品が動いていない事になる。価格もエンドユーザーが求める商品から順に上昇していくのが正規の姿であると思われる。



古紙業界の現状

古紙全般について: 赤染直納部長 (東京協組)

裾物3品を中心に古紙の現況を説明した。国内市況は洋紙メーカーが減産をしている。富士地区の大手製紙メーカーは商品の落込みで工場閉鎖する所が出てきている。古紙原料は景気の波に左右されやすい。板紙メーカーは生産が伸びず注水量がカットされており、国内の洋紙、板紙は低迷している。昨年は円高の影響もあり輸入紙が20%ほど増加して、国内の製紙メーカーに悪影響を与えている。昨年末からはアベノミクスによる円安で古紙の輸出量が23%ほど増加してきた。全体の輸出のうち中国への輸出が80%を占める。製品価格の上昇が鍵となるのではないかな。

産業古紙について: 上田直納副部長 (東京協組)

産業古紙の市況について家庭紙を中心に現況を説明した。家庭紙は2年前の震災直後にトイレトペーパーなどが販売店で品薄となった。製品は富士地区にあったが輸送手段がなくてすぐに届ける事ができなかった。需要は多かったなのでこの時期に輸入製品が店頭に並んだ。交通状態が正常になってからは購入が減少し製品在庫が増えてしまい現在に至っている。家庭紙メーカーは昨年、古紙原料を価格調整して製品の価格修正を期待したが実現出来なかった。現在は古紙の発生が減少して輸出が強含みのため原料不足の影響が出始めている。その他としては品質問題が出ている。昇華転写紙や感熱発泡紙による洋紙へのトラブルが多い。

集荷部新年会を開催

2月16日(土)浅草「貴乃」において集荷部新年会が開催されました。集荷部より参加者が12名、来賓が5名の総勢17名の会となりました。以下は、前集荷部部長での坂田秀一郎集荷部顧問の新年会に参加した感想です。

集荷部新年会に参加して

前集荷部長 坂田秀一郎

暫く振りに集荷部会の新年会に参加させて頂き、改めて集荷部員皆様の御壮健な姿に安心させられた。これも偏に現宮崎勝保集荷部長の人徳の賜ものなのだろう。当日は組合幹部の御臨席を仰ぎ盛大であった。

以前平成5年頃の逆有償問題からは、大変多くの学ぶべきものがあり、現状、低価格での商いは昨今の情勢から非常に厳しい状況に置かれている。価格が高騰すれば大手回収業者の触手にかかり仕事を失う。

集荷は価格が下落しても仕方無く、謂わば諦めの状態で回復を待つという、何んと譬えていいのか分からない。

組合の理事会の意見交換でも、集荷部は毎回弱い立場の発言をしなければならない。それ程、低姿勢でもある。以前、組合会議で我々の1日の日当などを取り決めた事もあったが、競争激化で露と消えた。

前理事長の故皆川昇氏がいつもおっしゃっていた言葉がふたつあり。ひとつはこの24時間の与えられた一日は、乞食であれ大金持ちであれ神様が平等に与えてくれていると。もうひとつは組合は組合員各社競争相手である事を忘れぬなど云っておられたが、それを肝に銘じ努力しなければと思う昨今である。

全原連の新年会及び懇親ゴルフ会

広 報 部

恒例の全原連の新年会が、去る1月30日(水)に浅草ビューホテルに於いて開催された。

全国から多数の役員が参加されるので、この機会を利用して各委員会も開催され、今後の全原連の活動に関して具体的な検討がなされた。

新年会は例年以上に多数の来賓に出席して頂き、特に衆議院議員および秘書で現役6名、元議員2名の方々に挨拶をして頂いた。その他、河村たかし名古屋市長、坂本敏幸経産省課長、日本製紙連合会羽山正孝理事長などのご挨拶を頂いた。座席は円卓でバイキング方式だったので、席も自由に参加者の交流が図られた。

翌日の近代化促進事業部主催による懇親ゴルフ会は、直前の雪で予定のゴルフ場が使えなくなり、急遽「ゴルフ倶楽部成田ハイツリー」で開催することになった。しかし参加者は42名と盛会で、新ペリア方式での優勝は山形資源(株)の鈴木隆男氏でした。スコアはベスト78から124までと、幅がだいぶありましたが、各々のレベルで楽しむ事が出来たうえ景品も多数ある楽しいコンペでした。

*都市近代化事業組合の事業

新規事業「カーリース」他について

事 業 部

組合では、皆様のお仕事に少しでもお役にたてるよう色々な事業に取り組んでおります。

協力組合である都市近代化事業組合では新たにカーリースの事業が加わりました。

内容は、リース契約会社3社(オリックス、三井住友リース、日本カーソリューションズ)から見積もりをして、その中で一番安い価格のリース会社の見積もりを提示します。その提示見積もりで

良ければご契約いただきます。

又、このところガソリン価格が高騰しておりますね。

組合では、皆さまがお使いになっているトラックや乗用車のガソリン代を少しでも安く購入できる事業があります。

都市近代化事業組合が行っている事業を通じてガソリンを購入されますと全国平均と比べてハイオク・レギュラーガソリンが約3円、軽油が約9円ほど安く購入できます。(その時の価格変動により大きく値動きがある事がありますが、あらかじめご了承ください)

この他にも、ETCカード利用による高速料金のポイント還元などのお得なサービスもございます。いずれも東京都製紙原料協同組合に加入されている組合員の皆さまの特権です。

ご希望、ご質問は組合事務局までご連絡ください。

支 部 便 り

第6回支部長訪問 「城北支部訪問」

山手支部長 脇 克美

昨年より各支部会に他の支部長が訪問しています。目的は支部間のコミュニケーションを深め支部の活性化に役立てる事です。

今回は、山手支部の脇支部長が近藤理事長と夏目専務理事と共に城北支部を訪問しました。

以下は訪問した支部長がアンケート形式で答えた感想です。

.....

訪 問 日：平成25年2月8日(金)

会 場：池袋西口「蔵之助」

参加人数：10名

①雰囲気：明るい雰囲気

②会場はどんな感じ：良かった

③理事会の報告：あった

④協議事項は：あった

ガソリンカードの説明、市況の説明

⑤懇親会での話題：回収量の落込みが厳しい

⑥何か参考になる事はありましたか：

辻支部長が皆のために一生懸命働いていた

⑦ご自分の支部で実行したい事はありましたか：
なかった

⑧同行者の感想：理事会報告を書類配付して説明をしていた点は他の支部にはなかった

⑨今回訪問に参加して：良かった

⑩この企画を続けたいと思いますか？：思う



城南支部新年会

城南支部 坂田 智

恒例の城南支部新年会は、2月2日～3日の土、日に箱根に7名で行ってきました。今年は人数的には、少し寂しかったですが幸いお天気にも恵まれて素晴らしい旅行になりました。

メンバーは支部長の私と株式会社中田の中田章さん、井出紙業株式会社の井出専務、株式会社梶谷商事の加須屋さん、株式会社平松商店の平松社長、新井紙材株式会社の高嶺さん、そして前副理事長の株式会社坂田紙業の坂田さんの7名です。

土曜日の1時50分に新宿小田急ロマンスカーの改札で集合して、おつまみとお酒を買い出して皆さん笑顔でロマンスカーに乗り込みました。箱根までの1時間半は、あっと言う間に過ぎてしまいほろ酔い加減で箱根に到着しました。

本日の宿泊は駅から歩いて3分の水明荘です。夕食までの間もお風呂に入った後は飲んで楽しく話をしていました。いよいよ待ちに待った宴会の時間です。コンパニオンも入りましたが、温泉街のコンパニオンは、だいたいがっかりするのですが、珍しく粒ぞろいでした。それも手伝ってか、皆さんお酒もすすみ楽しい宴会でした。私も酔っぱらって、11時には、眠りについてしまいました。

翌日の朝食では、前副理事長の坂田さんの御好意によるお祝を、井出専務のアイデアによるゲームで、たくさん当たる人、笑い（私でした）や全く当たらない方もいましたが、楽しく笑いに満ちていました。

帰りのロマンスカーでもお酒を飲んだのですが、昔の若い時とは、比べ物にならない位、皆さんも弱くなったなあ、と思いちよっぴり歳を感じました。来年は、体を節制してもう少し飲めるようになりたいです。新宿駅に到着後、笑顔で散会となりました。

幹事の中田さん平松さんお疲れさまでした



♪ことわざミニ知識♪

「羹（あつもの）に懲りて
膾（なます）を吹く」

熱かった吸い物に懲りて、つつい膾やあえ物のような冷たい料理も吹いて冷ますことから、一度しでかした失敗に懲りて、必要以上の用心をすること。

人間は失敗するまで、物事を甘くみる傾向にあるが、一方で一度失敗をしてしまうと、過度に警戒をする傾向もある。

太平洋戦争に敗れ軍部の暴走に懲りた経験とか、原発事故を目の前にしたトラウマなど、まさに日本人が問われている問題でもある。

支部スケジュール

千代田支部

総会 4月 5日（金）庄 司
支部会 4月 5日（金）菜の家
支部会 5月10日（金）菜の家
支部会 6月 6日（木）菜の家

中央支部

支部会 4月19日（金）玉ずし
支部会 6月14日（金）大門酒家

文京支部

総会 4月 場所と日にちは未定
支部会 5月 8日（水）地球飯店
支部会 6月10日（月）寿し常本店

台東支部

総会 5月初旬 場所と日にちは未定

荒川支部

総会 4月13日(土)～14日(日)
箱根湯本「河鹿荘」

足立支部

総会とゴルフコンペ
5月19日(日)～20日(月) 鬼怒川温泉

山手支部

総会 4月20日(土) 鮎やなぎ
支部会 5月18日(土) 鮎やなぎ
支部会 6月18日(火) 鮎やなぎ

城南支部

総会 5月11日(土) 場所未定

江墨支部

総会 4月20日(土) うさみ
支部会 5月20日(月) うさみ
支部会 6月20日(木) うさみ

城北支部

総会 4月12日(金) 東明飯店
支部会 5月10日(金) 場所未定
支部会 6月14日(金) 場所未定

◎**第57回 通常総会**
第51回 永年勤続従業員表彰

期日 : 平成25年5月20日(月)

場所 : 上野精養軒

時間 : 午後3時45分より

お 知 ら せ

〔4月会議・催事予定〕

4月 3日(水) 共販輸出検討委員会
(pm2:00～)
" 常任理事会(pm2:30)
理事会(pm4:00～)組合会議室
4月15日(月) 会計監査(pm4:30～)
組合会議室
4月19日(金) 古紙センター関東地区委員会
(pm2:00～)センター会議室
4月24日(水) 古紙センター業務委員会
(pm2:15～)センター会議室
" 全原連役員会
(pm3:30～)センター会議室
4月25日(木) 清風会ゴルフコンペ

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙4品の標準売値〕

平成25年2月8日現在

新聞	8円～10円(横ばい)
雑誌	6円～8円(横ばい)
段ボール	7円～9円(横ばい)
色上(並)	6円～8円(横ばい)

〔代表者変更・住所変更〕

代表者及び住所変更:

千代田支部 (有)野々村商店(代表者 野々村 誠)
→ 新代表 - 西村 貴之
新住所 - 千代田区三崎町 3-2-18
電話 3263-5871 FAX 3221-6264

住所変更: 山手支部 協商店(代表 脇克美)

新住所
新宿区新小川町 6-36
アーデンコート飯田橋 606

会議概要 [1月・2月]

1月度定例理事会

平成25年1月11日(金) pm 4:00～
於) 組合事務局 出席理事25名・監事1名

近藤理事長挨拶

新年おめでとうございます。昨年は色々な意味で大変厳しい年でありましたが、役員の方々には組合活動に対し多大なご協力を賜り有難うございました。

既に経済界を始め様々な地域で新年会が開催されており、政権交代による経済対策の期待で若干、明るい雰囲気になったような気がします。昨日開催された古紙センター互礼会では、色々な挨拶がありましたが、特にレンゴウの大坪社長が言われていた「三位一体で古紙業界、製紙業界、製函業界が今まではお互いに利益を取り合っていたが、そうでなく皆が利益を取れるような形にしなければいけない」という言葉が大変印象的でした。今年は何とか古紙業界も利益を取れる年になるよう期待しております。

今年度もあと数カ月となりました。本年の総会は役員改選となります。1月19日の合同新年会が終わりますと早速、その準備にかからなければなりません。皆様方のご協力を引き続き頂きますようお願い申しあげましてご挨拶と致します。

[各部報告]

[総務部]

テナント契約更新：会館2階 T・Sクリエイト
平成24年12月6日 賃貸借更新 賃借料、現状 78,750円で更新した。

組合会館2階のテナントの借り手が見つかってい

ないので、一部募集要項を変えて募集する。

[直納部]

1月度の共販輸出は2社が入札に参加した。入札の結果は、国内価格と比べ、若干の上値で(株)松本光春商店が落札した。仕向地はベトナム。業者の報告では「中国向け輸出はドルベースではあまり変化のない状況。しかし、為替が円安で円建て価格は上昇しています。1月後半からの中国向けは為替次第で下落する可能性があります」又、もう1社の業者の報告では、「年末年始にかけてだいぶ円安に振れましたが、コート紙に関しては市況的に弱くなっております」とのコメント。市況全般では、国内洋紙メーカー、板紙メーカーからの古紙注引量は良く横ばいではないかと思われる。家庭紙はマシンを廻しており年末からの古紙在庫を使っているようだが製品は弱含み。輸出市況はドルベースでは横ばいだが、円安で価格は上向きとなっている。

[品目別市況]

[ダンボール、台紙] 変わらない。

[オフィス古紙] 年末まで発生は良かった。

[返本] 発生は12月末に落ちたが、年明けに良くなった。年末年始は書店の売上が増えた。コミック(単行本)が年末に売れたようである。しかし、全体的にはかなり少ない。今年も出版に関しては良いデータはない。

[集荷部]

集荷の状況は、先月と変わっていない。12月は例年に比べ集荷の仕事が少なかった。発生は前年対比で減少しており、製本会社で日曜に休む所が多かった。

[広報部]

広報部は1月号(新年号)の準備をしている。メインは理事長、副理事長、返本加工協同組合の理事長の年頭挨拶で、他には関東商組との合同ゴルフ大会や清風会の研修会と忘年会、直納部忘年会を掲載予定である。又、青年部の各活動についても掲載をする予定。支部関係では支部員紹介、支部訪問、支部忘年会の報告を掲載する予定です。原稿の提出が、まだの支部がありますので早急に提出くださるようお願い致します。

[事業部]

1月19日(土)の組合合同新年会の最終準備段階に入っています。出席人数、座席、式次第、来賓者等を後ほど確認したいと思います。

[青年部]

12月13日(木)の青年部忘年会にご参加頂いた方、ありがとうございました。
組合合同新年会でカラオケ大会のお手伝いをしますのでよろしくお願ひします。

[近代化推進委員会]

1月30日(水)の全原連新年会の前に各委員会を開催する。

[支部会報告]

各支部より今後のスケジュール報告があった。詳細は広報1月号に掲載予定。

[その他]

- ・支部推薦の理事候補は2月末までに組合事務局へ連絡する。
- ・脱退者：文京支部 清勝紙業(株)代表者 田中正勝 廃業により平成24年12月31日で脱退・・・原案どおり可決

古紙センター関東地区委員会

[平成25年1月24日(木)] pm 4:00～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 12/12月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	70,950(92.4%)
	出荷	67,608(91.6%)
	在庫	13,912(20.6%)
[雑誌]	仕入	55,140(92.9%)
	出荷	51,027(96.5%)
	在庫	10,430(20.4%)
[段ボール]	仕入	137,623(102.6%)
	出荷	128,955(105.9%)
	在庫	20,772(16.1%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	199,459(90.6%)
	消費	211,582(105.9%)
	在庫	159,347(75.3%)
[雑誌]	入荷	103,162(92.8%)
	消費	100,372(96.5%)
	在庫	62,286(62.1%)
[段ボール]	入荷	270,347(89.0%)
	消費	274,045(96.6%)
	在庫	114,027(41.6%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

11月、12月と新聞、雑誌、段ボールの発生は悪い。12月とは思えない集荷の状況である。新聞は、本文は変わらないがチラシは相変わらず減少している。販売価格も変化なし。輸出は中国の輸出量が増えている。

[上物古紙]

産業古紙の発生は、年末年始にかけ休みが長く大

雪の影響で悪い。家庭紙メーカーの古紙在庫は2月には、少なくなり厳しい状況になると思われる。東京協組44社の12月の上物古紙在庫は、前月比では増加しているが前年同月対比では1割近く減少している。

[メーカー側コメント]

新聞は入荷した分、消費されており順調である。年末在庫は予測通りの在庫状況となった。印刷用紙は減産。雑誌の消費が悪い。1月に入り大きな問題はなく在庫状況も順調である。段ボール原紙は12月～1月の発注は抑制ぎみ。段ボールの軽量化が急速に進んでいる。

古紙センター業務委員会

[平成25年1月30日(水)] pm1:15～
於) 古紙センター会議室

[1] 古紙消費計画とりまとめ時期の見直しについて

*古紙の需要・市況動向についてはページ数の関係で割愛させていただきます。

2月度定例理事会

平成25年2月5日(火) pm4:00
於) 組合事務局
出席理事21名・監事2名

近藤理事長挨拶

先月は第10回合同新年会が開催されました。課題はいろいろあると思いますが、まずは楽しく和やかに開催出来ました事を感謝申し上げます。ご協力有難う御座いました。

節分、立春も過ぎまして今年の組合活動もいよいよ

よ本格的に開始されることになりました。今月は東京都紙器工業協同組合との会合、来月は静岡県紙業協会家庭紙部会と原料団体との懇談会と続きまして、その後は5月の総会に向け準備に入ります。中国も今月の10日から旧正月という事で長期休暇に入りますが、今朝の日経に中国から欧米向けのコンテナ運賃が急上昇しているとの記事がありました。今月の関東商組の輸出価格も上昇しております。各地の梅や伊豆の河津桜も咲き始めているようですが、今年の花粉症は中国から来るスモッグの汚染物質と重なり、かなり重症化するとの話も出ています。十分注意をしながら今年は我々業界にとっても少しは良くなるようお願いまして、ご挨拶と致します。

[各部報告]

[総務部]

組合会館2階のテナント募集については、1年以上、借り手が見つからないので不動産業者との連携をさらに深めて募集を継続していく。知り合い等で希望者がいれば紹介をしてほしい。

[直納部]

今年の海外メーカー視察研修を9月20日(金)～9月23日(月)に予定している。視察地については検討中である。

2月度の共販輸出は2社が入札に参加した。入札の結果は、国内価格と比べ上値で(株)松本光春商店が落札した。仕向地は中国。業者の報告では「為替が円安で円建て価格は上昇。中国の大気汚染が中国国内の工場の生産に悪影響を及ぼす可能性があり注意が必要」又、もう1社の業者の報告では、「コート紙類の引合い及び需要はあまり良くない。現地価格も弱含みだが最近の円安傾向で円建て価格は上昇している」とのコメント。

市況全般では、輸出は強含みで中国の製紙メーカーは旧正月前に原料在庫を積んでいる。

[品目別市況]

[家庭紙、新聞、雑誌] 家庭紙メーカーの状況は良くない。発生は少なく家庭紙メーカーの原料在庫にタイト感が出ている。輸出では雑誌が値を上げておりミックス古紙も価格が上昇してきている。国内の洋紙メーカーでは、新聞古紙・雑誌古紙の価格に変化はない。

[ダンボール、台紙] 上台紙の発生は少ない。

[オフィス古紙] オフィス古紙、機密古紙は引き合いが強い。特に機密古紙はタイトである。

[返本] 1月の発生は横ばいで価格に変化はない。このところの円安で輸入紙が国産紙に比べ競争が弱くなってきている。

[集荷部]

集荷は発生がかなり悪い状態である。製本関係からの発生が極端に少ない。

[広報部]

広報部は1月号(新年号)が1月末にお手元に届いたと思います。現在、3月号の準備中である。「時の視点」ではレンゴーの大坪社長が言われた「三位一体」をテーマに東京協組としての意見を加え掲載する予定です。「時の話題」では組合の合同新年会、TOM新年会、支部の新年会を中心に掲載予定です。支部関係では支部員紹介、支部訪問の報告、4月～6月の支部日程を掲載する予定です。該当する記事の原稿を期限までに提出くださるようお願い致します。

[事業部]

1月19日(土)に行われた組合同新年会が無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

本日は、理事会前に都市近代化事業協同組合より新事業の「カーリース」についてと「自動車共済」「ガソリンカード」についての説明があります。会社の経費の節約となりますので1社でも多く加入される事をお願いします。

[青年部]

2月13日(水)に青年部幹事会を開き次年度役員について話合いたいと思います。2月16日(土)に印青連の文化祭がありますので時間がある方をご参加くださるようお願い致します。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会・・・東京協組の古紙リサイクルアドバイザーの更新後のリストについての確認
需給委員会・・・世界古紙会議の開催について
IT委員会・・・東芝情報機器(株)のソフトで新リサイクルシステム(新機能)についての紹介
渉外・広報委員会・・・全原連紹介リーフレットの作成について

[その他]

・脱退者：城北支部 石原商店
代表者 石原康秀 廃業(引退)により
平成25年3月31日で脱退…原案どおり可決

古紙センター関東地区委員会

[平成25年2月21日(木)] pm 2:00～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 13/1月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	59,656(97.2%)
	出荷	62,800(98.2%)
	在庫	10,768(17.1%)

[雑誌]	仕入	50,892(102.4%)
	出荷	51,993(101.1%)
	在庫	9,329(17.9%)
[段ボール]	仕入	115,961(102.0%)
	出荷	120,837(105.5%)
	在庫	15,896(13.2%)
[関東・静岡実績]		
[新聞]	入荷	199,985(98.9%)
	消費	212,905(105.5%)
	在庫	146,427(68.8%)
[雑誌]	入荷	98,501(93.3%)
	消費	91,093(92.3%)
	在庫	71,154(78.1%)
[段ボール]	入荷	257,239(94.7%)
	消費	257,723(104.8%)
	在庫	113,543(44.1%)

[業者側コメント]**[新聞・雑誌・段ボール]**

1月の発生は段ボール、雑誌は変わらないが、新聞ではチラシの減り方が大きい。2月に入り発生が悪くなってきている。3品の在庫が減少してきているが原因として輸出量が増えたためだと考えられる。12月は輸出価格が上昇している。2月はメーカー在庫が、あまり減少していない。

[上物古紙]

家庭紙メーカーの1月末の製品在庫は適正在庫である。非発生期で需給はしまっている。上物古紙の44社在庫統計では、前月に比べ2割の減少となっている。

[メーカー側コメント]

新聞の1月入荷は順調であった。2月はメーカーの一部で発注調整があった。入荷ベースはスロウダウンし12月末の在庫を使いコントロールしている。

雑誌の1月の入荷はますます。メーカー在庫は1年半上昇状態である。2月の入荷は徐々に減少している。

段ボール製品は、1月に少し上昇している。青果品、自動車等が好調だった。2月は昨年よりやや多い状況。段ボール原紙は若干、減少している。薄物と仮需の影響が出ていると考えられる。

直納部委員会

[平成25年2月25日(月)] pm 3:30～
於) 組合会議室 出席委員 12名

市況全般について

全般的に国内の洋紙メーカーは厳しい状況。板紙メーカーは、3月は注引量が横ばいか、若干、上回る予想。価格は変化なし。中国向け輸出価格は、旧正月明けに若干、上向いてきている。円安分、強含み。ミックスの価格が上昇しており内外格差が出ている。

[家庭紙]

家庭紙原料の発生は悪い。

[各社の動向]

在庫は不足している間屋が多い。

ランニングストックを切っている間屋も多い状況。

「家庭紙部会に向けてのアピールポイント」

- ①発生が少なく過去最低の在庫となり苦勞している。
- ②輸出は好調である。ミックスの輸出価格が上昇している。
- ③販売は引合いが強く好調である。

集直合同委員会

[平成25年2月25日(月)] pm4:30～

於) 組合会議室 出席委員 16名

[集荷部の現状]

1月の発生は悪く約2割減。極端な落ち込み状況であった。印刷、製本関係の仕事が少なく発生量が落ちている。

集荷は現状の価格帯ではコスト的に利益を出しにくい。輸出価格ではミックス(回収雑誌)が上昇している。

以上の事を「家庭紙部会に向けてのアピールポイント」の中に集荷の意見として反映してほしい。

古紙センター業務委員会

[平成25年2月28日(木)] pm1:30～

於) 古紙センター会議室

- [1] 平成25年度事業計画(案)について
- [2] 賛助会員規定の一部改定(案)について
- [3] 日本古紙品質認定制度(J-BRAND)について
- [4] 古紙の需要・市況動向について

*古紙の需要・市況動向についてはページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連第7回役員会

[平成25年2月28日(木)] pm3:00～

於) 古紙センター会議室

理事・監事64名:出席64名

(内、委任出席35名)欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会(2月28日開催)

◎平成25年度事業計画案について

(1) 古紙品質安定対策事業

- ・古紙品質調査事業については従来、関東地区、中部地区で実施してございました今後古紙開梱組成調査を製紙メーカー協力のもと継続して実施する。また、雑誌・雑がみの排出段階の開梱組成調査実施を行う。

(2) 広報宣伝事業

- ・紙リサイクル研修会・出前授業については特に出前授業は小学校に出向き紙リサイクルセミナーについての授業を行う。(継続事業として各地区に推進体制を確立する)
- ・紙リサイクル意見交換会については各自治体との連携を強化するために意見交換会等を開催する。
- ・顕彰制度については各地区委員会推薦の集団回収実施団体に対して感謝状を贈呈する。また、紙リサイクル関連団体への表彰状の交付は制度の存続も含め見直しを行う。

(3) 調査研究事業

- ・海外古紙調査については日中古紙セミナー継続実施する。また、アジア・欧米古紙状況調査を行う。
- ・機密文書利用拡大調査については調査委員会を設置し、機密文書処理のガイドラインを検討する。

(4) 古紙回収推進事業

- ・紙リサイクルコンテストについては平成21年度より実施してきた全国小中学生「紙リサイクル」コンテストについて推進体制等を見直し開催する。
- ・地区事業の実施については環境フェアへの出展、古紙問屋見学会等を実施する。

(5) その他の事業

- ・地区委員会活動については当センター8地区委員会主体の研修会、広報活動等を実施し、地区委員会および地区事業の活性化を図る。

◎賛助会員規程の一部改定（案）について

- ・（除名） 第5条の2 賛助会員が次の各号の事由に、該当するときは、理事会の決議により除名することができる。

(1) 違法行為または著しく道義に悖る行為をす
るなど、会員として相応しくないと認めら
れるとき

(2) 公益社団法人および公益財団法人等に関す
る法律第6条第6号に該当するに至ったとき

(3) 正当な理由がなく会費を1年分以上滞納し
たとき

賛助会員の除名が審議される理事会において、当
該賛助会員には弁明の機会を与えなければなら
ない。

◎日本古紙品質認定制度(J-BRAND)について

「表示実施マニュアル」及び「紙リサイクルセ
ミナー」アンケートへのお答え（98件の意見）
をセンター各地区委員会に通達して頂きたい旨の
お願いをした。

関東地区では平成24年11月1日より実施

◎今後の日程について

平成25年3月15日（金）14:15～15:15

第10回業務委員会（センター会議室）

平成25年4月24日（水）14:15～15:15

第1回業務委員会（センター会議室）

平成25年5月29日（水）14:15～15:15

第2回業務委員会（センター会議室）

平成25年6月24日（月）14:15～15:15

第3回業務委員会（センター会議室）

(2) 全原連 関係

◎審議事項

- ①古紙持ち去りに伴う「ロンダリング」の定義
及び対応について

*古紙持ち去りに伴う行為は次のように分類す
る。

1. 公的機関（行政等）から公表された当該組合
員が組合員であり自ら持ち去り行為を行っ
ている場合。

対応として公的機関から公表された場合、所
属組合理事長は改善勧告を当該組合員にた
だちに行う。しかし、再度同様の事態が起
きた場合は各単組の定款にてらし再犯とし
て除名処分を行うことができる。

2. 公的機関（行政等）から公表された持ち去
り業者から購入している業者から組合員企
業が直接古紙を購入している場合。

対応として当該企業と取引する組合員企業
は、当該企業に対し改善指導を行い一定期
間（3カ月程度）を以って改善出来ない場合
は、取引停止を勧告実施する。

3. 公的機関（行政等）から公表された持ち去
り業者から組合員企業が古紙を直接購入し
ている場合。

対応として当該企業に対し所属組合理事長は
即時改善指導を行い、一定観察期間（3カ月）
を以って改善されない場合は、一時資格停
止処分（6カ月）を実施、なお、改善され
ない場合は除名を含む処分を行う。

4. 公的機関（行政等）から公表されていないが、
持ち去り業者から古紙を購入し且つ当該組
合員企業も認めた場合。

対応として当該企業に対し所属組合理事長は
改善指導を行い、3カ月間経過観察を実施し
改善されない場合は、当該企業の販売先へ
の購入規制指導を依頼、なお、改善され
ない場合は除名を含む処分を行う。

②「J-BRAND」の実施について

*表示ラベル貼付の実施要領

実施時期：平成25年4月1日出荷分

実施品目：「回収段ボール古紙」・
「回収新聞古紙」

表示ラベル：全原連の定める「J-BRAND
表示ラベル」を貼付

表示箇所：当該古紙ベールの縦面に
1枚貼付

貼付糊：メーカー指定貼付ラベルと
同様の水溶性糊

該当貼付先：(公財)古紙再生促進センター
加盟で各地区委員会構成製紙
会社に所属する工場。

③古紙リサイクルアドバイザー認定申請について
(理事会 承認)

- ・1月15日11社24名(463社2,412名)
- ・2月15日29社82名(465社2,494名)

④BIR上海会議への派遣計画について

日程：平成25年5月26日～29日(3泊4日)

会場：プードン・シャングリ・ラ ホテル

派遣人数：3名(参加：全原連、栗原理事長)
他2名募集

⑤雑紙・雑がみ有効活用調査委員会の審議状況について

*経済産業省との打合せ(2月15日開催)

- ・排出段階で雑紙・雑がみの分別を進める。自治体が雑紙・雑がみの分別回収を推進すること。
- ・容り法対象品については製紙原料不適品と製紙原料向けを明確にする。
- ・容り法識別マークについては紙に利用できるマークを作成することを要望する。

(3)各委員会報告

●経営革新委員会(1月30日開催)

- ・「日本古紙品質認定制度(J-BRAND)」事業進捗状況報告の件

関東地区では平成24年11月1日よりトライアル実施

全原連実施は平成25年4月1日予定

- ・「古紙商品化適格事業所の「品質管理責任者」テキストの件

品質管理、生産管理の内容等を簡素化する。
品質管理責任者認定試験の実施は平成25年4月～6月の間に行う。

●需給委員会(1月30日開催)

- ・来期計画の中で海外視察研修会を検討(インドネシア)

●IT推進委員会(1月30日開催)

- ・新リサイクルシステム(新機能)の説明。
- ・平成25年度事業計画について検討。

●渉外広報委員会(1月30日開催)

- ・「全原連紹介リーフレットの作成について」各単組委員で検討
- ・全国単組のプロフィールをA4一枚表裏に紹介する。
- ・3月末原稿締切、4月末完成、5月総会時配布予定。

広報部からのお知らせ

1. 広報誌掲載の広告募集について

*組合では、広く業界関係各社から広報誌の広告掲載を募集しております。

広告スペース、場所、料金等の詳細につきまして組合事務局までお問い合わせください。

2. 広報誌 表紙写真募集の件

皆様には日頃より組合活動にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて広報誌の表紙は、従来、特定の組合員様のご協力で写真を提供して頂いて参りました。

しかしながら諸般の事情により、その写真の利用が出来なくなり、とりあえず広報部内で写真を工面して掲載しています。

引続き組合員の皆様から表紙を飾る写真を公募しておりますので、次の要領で、奮って写真をご応募ください。お待ちしております。

募集要項

募集写真：白黒またはカラー写真

焼き付け または 添付ファイル

題 材：風景、季節、催事を扱ったもの

提出時期：随時

提出先及び問い合わせ先：

〒110-0016 東京都台東区台東3-16-1

東京都製紙原料協同組合 事務局

TEL 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

E-mail : info@kosi-tokyo.or.jp

編集後記

広報部部长 清水 弘允

「三寒四温」の言葉に共感できる気候の変化が続いています。

今年はいつまでも寒いと思っていたら、「春一番」に運ばれた暖かい空気で突然最高気温25度を超える夏日が出現し、体調を狂わされないよう苦労させられます。

更にPM2.5なる、今まで聞いた事もない物

質が中国から飛んで来るし、花粉発生が去年の5倍との予測もあり、気のせいかマスクをしている人の数が増えているようです。

商売から言えば、ティッシュが売れてくれるのは歓迎ですが。

我々の業界も色々と、話題にこと欠きません。

アベノミックスが追い風となり、古紙の国内価格は低迷していますが、円安で輸出価格が強含みとなっています。

「持ち去り問題」では、ココセコム(GPS)による追跡調査、ステッカー貼付、古紙ロンダリングの指摘など、あれこれ対策が取られていますが、現場で解釈の相違による混乱も散見しますし、組合員間の疑心暗鬼もあつたりで、方向性が明確になるには暫らく時間が掛るでしょう。

東京協組の組合員数の減少に、残念ながら歯止めがかかりません。昨年に続いて10社近い組合員が辞めて行きました。

後継者がいない為の廃業が殆どですが、集荷を生業にする中でも、産業古紙の集荷を生業にする事の難しさを反映していると、言わざるを得ません。

組合に加盟していたら商売がうまく行く保証は全くありませんが、それでも厳しさを増す業界の中で、一人で悩むより多くの同業者と交流する事は、自分の立ち位置を確認し、どちらの方向に向かって行くべきか判断する際に、役に立つのではないのでしょうか。

5月には総会があり、今年度は人事異動のある総会です。舵取りの難しい協同組合ですが業界にいる以上は、協力して一つの柱である東京協組を盛りたて、それにより一人一人の組合員が得をする活動をして行きたいと思います。

その意味で広報誌も頑張っ、更に組合員の情報と意見の広場にして行きたいと思います。今後ともご協力を宜しく願います。